

PBF 定期通信 no.6

2024年12月26日発行

Practical Biosafety Forum : 生物安全実践講習会

発信元 : (一財)機能水研究振興財団 / (公財)ルイ・パストゥール医学研究センター
生物安全実践講習会 専門委員会
編集担当 清水雅俊・堀田国元

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: shimizu@fwf.or.jp ホームページ: <https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen>

2024 年度 年間スケジュール

8月20～21日	第4回 実践コースB	北里環境科学センター(神奈川県)
9月26日	第6回 基盤コース	ニプロホール(大阪府)
2月1～2日	第2回 実践コースA	山口県歯科医師会館(山口県)
2月19～20日	第5回 実践コースB	医療研修施設ニプロ iMEP(滋賀県)
3月18日	第7回 基盤コース	北里大学白金キャンパス(東京都)

● Topics ●

生物安全関連情報 :	WHO・CDC など	P2
	感染症エキスプレス	P3
開催案内 :	第5回実践コースB	P4
	第7回基盤コース	P5

【お知らせ】

・講習会広報用動画が完成しました。

第3回実践コースB開催時に撮影した動画を5分間のダイジェストにまとめた動画を作成しました。
会社の同僚や上司部下、関係する方々へも是非ご紹介ください。

動画は講習会ホームページ、またはYouTubeへ掲載しています。

講習会ホームページ <<https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen>>

YouTube  <<https://www.youtube.com/watch?v=0o941n2H6w8&t=21s>>



【 生物安全関連情報 】

◎ WHO 関連

• Global tuberculosis report 2024

<https://www.who.int/teams/global-tuberculosis-programme/tb-reports/global-tuberculosis-report-2024>

2024 年世界結核レポート

世界、地域、国レベルでの結核の流行と、結核の予防、診断、治療の進捗状況に関する包括的かつ最新の評価を示す。例年通り、主に WHO が各国の保健省から毎年収集したデータに基づいている。2024 年には、世界の人口と結核症例の 99%以上を占める 193 の国と地域からデータが報告された。詳細なコンテンツはページ内リンクより閲覧可能。

• Identifying WHO global priority endemic pathogens for vaccine research and development (R&D) using multi-criteria decision analysis (MCDA): an objective of the Immunization Agenda 2030

[https://www.thelancet.com/journals/ebiom/article/PIIS2352-3964\(24\)00460-2/fulltext](https://www.thelancet.com/journals/ebiom/article/PIIS2352-3964(24)00460-2/fulltext)

WHO の多基準意思決定分析を用いたワクチン研究開発のための世界各所の風土病病原体の特定、2030 年の予防接種アジェンダ

現在まで、風土病原体に対する新しいワクチンの研究開発の優先事項は世界的に見ても体系的に特定されていない。予防接種アジェンダ 2030(IA2030)の一環として、このニーズに対応するために、国や地域の利害関係者の価値観に基づいて、風土病原体における新しいワクチン開発を体系的に特定した。

◎ CDC 関連

• ANTIMICROBIAL RESISTANCE THREATS in the United States, 2021–2022

<https://www.cdc.gov/antimicrobial-resistance/data-research/threats/update-2022.html>

アメリカにおける薬剤耐性の脅威

2024 年 7 月、CDC は以下 7 つの抗菌薬耐性病原体におけるファクトシートを公開した。カルバペネム耐性腸内細菌科 (CRE)、カルバペネム耐性アシネトバクター、カンジダ・アウリス (*C. auris*)、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)、広域スペクトル β ラクターマーゼ (ESBL) 産生腸内細菌科、多剤耐性 (MDR) 緑膿菌。CDC は以前、COVID-19 に関するレポートの中で、アメリカでは 2020 年にこれらの病原体の負担が増加したと報告していた。新しいデータは、その後の 2 年間、2021 年と 2022 年の説明し、2019 年のデータと比較している。

関連リーフレット: 薬剤耐性との戦い 自分自身と家族を守る

<chrome-extension://efaidnbmninnipcbajpcgclefindmkaj/https://www.cdc.gov/antimicrobial-resistance/media/pdfs/Actions-Protect-Yourself-508.pdf>

◎ その他 (USDA)

• USDA Announces New Federal Order, Begins National Milk Testing Strategy to Address H5N1 in Dairy Herds

<https://www.usda.gov/article/usda-announces-new-federal-order-begins-national-milk-testing-strategy-address-h5n1-dairy-herds>

米国農務省が新たな連邦命令を発表、乳牛の鳥インフルエンザ対策のための全米牛乳検査戦略を開始
全米牛乳検査戦略 (NMTS) を義務付け、州当局と乳製品規制当局を支援し、農場、農場労働者、地域社会を H5N1 鳥インフルエンザから守るための行動を強化する。

全国の生乳 (低温殺菌されていない) サンプルを収集し、USDA と共有して検査する。この NMTS は、どの州とその中の特定の群れが H5N1 に感染しているかを迅速に特定し、他の家畜への感染リスクを減らすために強化されたバイオセキュリティ対策の実施、そして重要なポイントとして、農場労働者を保護して感染リスクを減らすための重要な取り組みである。

◎ 感染症エクスプレス Vol.528 @厚労省

【トピックス】

◆急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)は、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称。厚生労働省は、公衆衛生対策の向上につなげるため、令和7年度より、急性呼吸器感染症(ARI)を5類感染症に位置付け感染症サーベイランスの対象とする。

急性呼吸器感染症(ARI)に関する Q&A

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/ari.html>

◆内閣感染症危機管理統括庁主催シンポジウム

「次なる感染症危機への備え～新しい政府行動計画が目指すもの～」参加者募集

日時: 令和7年1月10日(金)13時00分～15時00分

開催形式: YouTube Live によるオンライン参加(事前申込制・参加無料)

申込みフォーム: <https://www.secure-cloud.jp/sf/business/1732502204IFjqnSQI>

【新型コロナウイルスについて】

2024年第50週(12/9～12/15)における定点当たり報告数は、3.89(報告数 19,233 人)

・報道発表資料について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00461.html

【インフルエンザについて】

2024年第50週(12/9～12/15)における定点当たり報告数は、19.06(報告数 94,259 人)

・報道発表資料について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou01/houdou_00018.html

【風しんの追加的対策】

<風疹 発生動向調査> 2024年第49週(2024/12/11 現在)

<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/rubella/2024pdf/rube24-49.pdf>

【役立ちリンク集】

◆IDWR 2024年第49週(第49号)(2024年12月20日)

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少。過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。

<IDWR 感染症発生動向調査週報>

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2024.html.html>

◆ASR Vol. 45, No.12 (No. 538) (2024年12月発行) 特集は「サポウイルス」

関連情報として、世界に認知されたサポウイルスの発見と命名への日本の貢献などを取り上げ。

<IASR(病原微生物検出情報 月報)>

<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/iasr/45/538.pdf>

◆厚生労働省検疫所(FORTH): 海外の感染症情報

マラリアーエチオピア連邦民主共和国

https://www.forth.go.jp/topics/2024/20241220_00001.htm

マールブルグ病ールワンダ共和国(2024.10.11 更新版)

https://www.forth.go.jp/topics/2024/20241206_00001.html

◆SNSにおける情報発信: 厚生労働省公式アカウント<X(旧 Twitter)、Facebook>

【開催案内】



生物安全実践講習会

第5回 実践コースB

募集中

日程：令和7年 2月19・20日(水・木) 2日間(各日 9:00~17:00)

会場：医療研修施設「ニプロ iMEP」

[アクセス] JR 南草津駅(京都駅より新快速 17分)より徒歩約3分

内容：病原体の取扱い・管理のために必要な

法令を含めた先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料：1名 35,000円(テキスト事前配布)

申込方法：生物安全実践講習会ホームページの「開催案内」より
 < <https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen> >

講習会ホームページ



事務局：生物安全実践講習会 担当 清水雅俊(kinousui-zaidan@fwf.or.jp)



【予定プログラム】

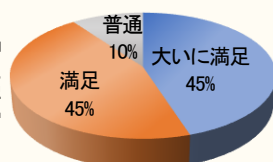
	区分	題目	座学講師・実習指導者	
第1日目	ガイダンス	講習会概要	堀田 国元	機能水研究振興財団 理事長
	座学1	感染制御概論Ⅰ-細菌-	矢野 寿一	奈良県立医科大学 教授
	座学2	感染制御概論Ⅱ-ウイルス-	呉 成旭	ルイ・パストゥール医学研究センター 研究部長
	座学3	病原体の消毒・殺菌および滅菌	堀田 国元	元国立感染症研究所生物活性物質部 室長
	座学4	One Health から見た 薬剤耐性菌の現状と課題	田村 豊	酪農学園大学 名誉教授
	座学5	医薬品製造における安全対策とGMP	佐々木 次雄	元国立感染症研究所細菌第二部 室長
	座学6	遺伝子組換え生物等の利用と安全対策	辻井 栄作	京都大学研究推進部研究規範マネジメント室
	座学7	遺伝子関連検査と安全対策	林 邦彦	(株)池田理化 / PCR感染症検査研究会
第2日目	特別講演	生物安全に関わる 今知っておくべき新知識・新情報	藤田 直久	京都府保健環境研究所 所長
	実習1	病原体の輸送・梱包および漏洩時対応	伊木 繁雄 鹿住 祐子 霜島 正浩	国立感染症研究所安全管理研究センター 主任研究官 元結核予防会結核研究所抗酸菌部結核菌情報科 (株)スギヤマゲン
	実習2	個人防護具(PPE)の着脱	大川 潤一	アゼアス(株)
	実習3	遺伝子関連検査の基本操作と安全対策	林 邦彦	(株)池田理化 / PCR感染症検査研究会
	実習4	安全キャビネットの構造と管理他	関口 勝美	(株)アルバーネット 代表



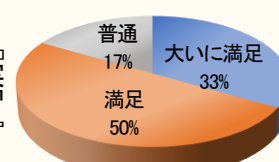
＜受講生の声＞

講習会満足度

『座学』



『実習』



【開催案内】

(公財)レイ・パストゥール医学研究センター・(一財)機能水研究振興財団・(一財)北里環境科学センター 共催



生物安全実践講習会

第7回 基盤コース

募集中

日程：令和7年3月18日(火) (9:00~17:00)

会場：北里大学白金キャンパス 薬学部1号館6階 多目的室

[アクセス] 東京メトロ南北線 白金高輪駅より徒歩 10分

内容：病原体の性状・取扱い・管理のために必要な
法令を含めた先進的知識と技術に関する座学と実習

受講料：1名 20,000円 (テキスト事前配布)

申込方法：生物安全実践講習会ホームページの「開催案内」より
< <https://biosafetyforum.wixsite.com/seibutuanzen> >

事務局：生物安全実践講習会 担当 清水雅俊 (kinousui-zaidan@fwf.or.jp)



【予定プログラム】

区分	題目	座学講師・実習指導者
午前	ガイダンス 講習会概要	堀田 国元 機能水研究振興財団 理事長
	座学1 感染症概論	木ノ本 雅通 元国立感染症研究所 主任研究官
	座学2 病原体概論Ⅰ -細菌-	中野 隆史 大阪医科薬科大学医学部 教授
	座学3 病原体概論Ⅱ -ウイルス-	野田 衛 国立医薬品食品衛生研究所 客員研究員
	座学4 感染防御概論Ⅰ -感染経路対策-	堀田 国元 立石 亘 機能水研究振興財団 理事長 迅速検査研究会
	座学5 感染防御概論Ⅱ -殺菌・消毒-	岩澤 篤郎 東京医療保健大学 教授
	特別講演 生物安全に関わる 今知っておくべき新知識・新情報(仮)	花木 秀明 北里大学大村智記念研究所感染制御センター長
午後	実習 衛生的な手洗い	サラヤ株式会社
	ATP拭き取り検査	キッコーマンバイオケミファ株式会社
	生菌の顕微鏡観察	株式会社mil-kin
	个人防护具の装着(マスク)	興研株式会社

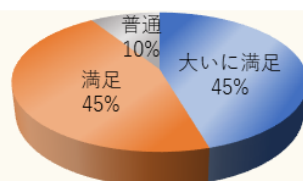


<受講生の声>

講習会満足度

※HPにダイジェスト動画掲載中

『座学』



『実習』

